

教育クラウドが実現する新たな学び

～社会を生き抜く力を育てるために

クラウドで何ができるのか～



福島県新地町

3月28日(火)

新地町教育委員会

伊藤 寛

新地町ICT活用グランドデザイン

新地町教育目標：「夢を育み可能性を伸ばす」

ICT活用における研究テーマ

「ICTを活用して学びの質を高め、21世紀を生き抜く力を育てる授業」

新地町立小・中学校のICT活用における研究主題

ICTを活用した学び

探究志向の学び
Deep Learning

個々の課題に応じた学び
Adaptive Learning

主体的・協働的な学び
Active Learning

ICT活用協議会における専門家の知識

新地町立小・中学校における校内研修

教員の授業力の向上

ICTを活用した指導力の向上

I 個々の課題に応じた学び

個々の能力や特性に応じた最適化された学びを提供することで基礎的・基本的な力を身につける学び

基礎的・基本的な知識・技能の習得

学ぶ内容の最適化

習得状況の可視化
学習進度の把握



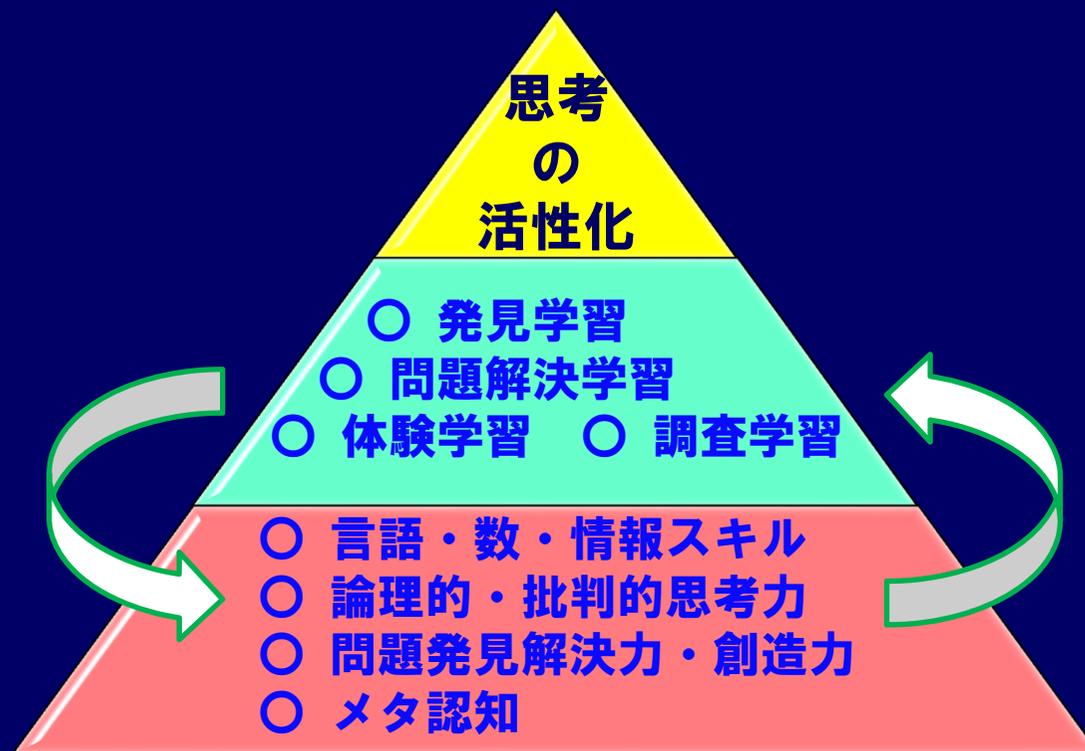
学ぶ方法の最適化

多様な学び方の提供
学習場面の提供

- ・ ICTを活用することで子どもたちの思考や習得状況が可視化されるため、個々の状況を的確に把握することができ、学ぶ内容を吟味することで「子ども・教材・教員」のバランスの取れた学習指導を実施することができる。
- ・ 子どもたちの思考や習得状況が可視化されるため、ペア学習やグループ学習を明確な意図に基づいて編成することができる。（深めたい場合は同じ考えの子ども、広げたい場合は違う考えの子どもでグループ等を編成する 等）

II 主体的・協働的な学び

土台となる力を習得・発揮しながら能動的な学び（アクティブラーニング）によって思考の活性化を図る学び



- ・ ICTを活用することで子どもたちの思考を容易に整理し、共有することができるため、比較したり関連づけたりする場面や情報・証拠・見解を分析する場面をしかけ、学びに深まりを生むことができる。
- ・ 同時に複数の子どもが一つのシートに記録できるため、意見の活発な交流が生まれ、様々な観点から考えを吟味し、課題を解決したり、新たな課題を発見したりすることができる。

Ⅲ 探究志向の学び

継続的に学び続ける人間の育成を目指し、知識と知恵・感性を統合しつつ、より深く思考する能力や自己形成力、他者との人間関係形成力を向上させる学び

変化の激しい新しい時代を生き抜く人間

自立的に
学び続ける姿

適切な評価
(自己評価・他者評価)
にもとづいて学び続ける姿

学びに向かう力や多様性を尊重する態度、互いの良さを生かして協働する力を身につけさせる学習プロセス

適切な評価によって子どもたち自身が学習に価値を見いだす学習プロセス

- 学びの必要性を感じ、ICTを活用して知識や技能を獲得しつつ対話を通して他者の考え方を吟味して取り込む活動を通して、学び方や課題解決の手法を身につけることができる。
- 自らの学びを振り返り、他者評価も参考にして適切に自己評価する学びを重ねることで、自らの成長を振り返りながら次の学びへの意欲を高めることができる。

個々の学習進度の把握、最適な学びの提供



学習サポート クラスリスト 学習管理 児童生徒成績一覧 印刷指示 CSV出力

家庭学習の状況を確認し
適時適切に指導

14	5期 豊原5214	32	78	↑	46	100	98	→	-2	403
17	6期 光成5217	0	44	↑	44	0	99	↑	99	65
5	4期 豊原5205	35	72	↑	37	100	100	→	0	300
11	6期 大野5211	35	59	↑	24	100	100	→	0	168
2	5期 藤沢5202	29	27	→	-2	100	99	→	-1	154
12	5期 豊原5212	34	32	→	-2	96	99	→	3	157
20	5期 真田5220	26	23	↓	-3	100	100	→	0	119
19	5期 松本5219	37	33	↓	-4	96	95	→	-1	123
6	5期 豊原5206	20	25	↓	5	100	100	→	0	161

一人一人の解答を確認して
次時の授業構想の練り直し

20-1= 差+段目 20+21=

使う式 $1+2 \times x = y$

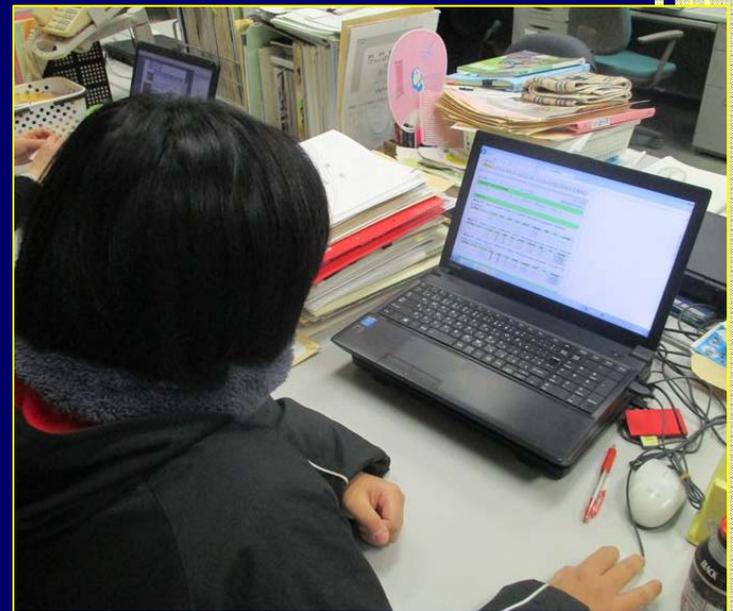
21段目 $1+2 \times (21-1) = 41$
53段目 $1+2 \times (53-1) = 105$
78段目 $1+2 \times (78-1) = 157$
大きな数でも対応できる。
この式のは、1段目の合計で2は、1段目増えるごとに増えるから決まった数(段目)は、求めたい段目では1段目は、もうあるから。

1 3 5
2ずつ枚数が
 $20 \times 2 = 40$ 増
40に真ん中の
書え41枚

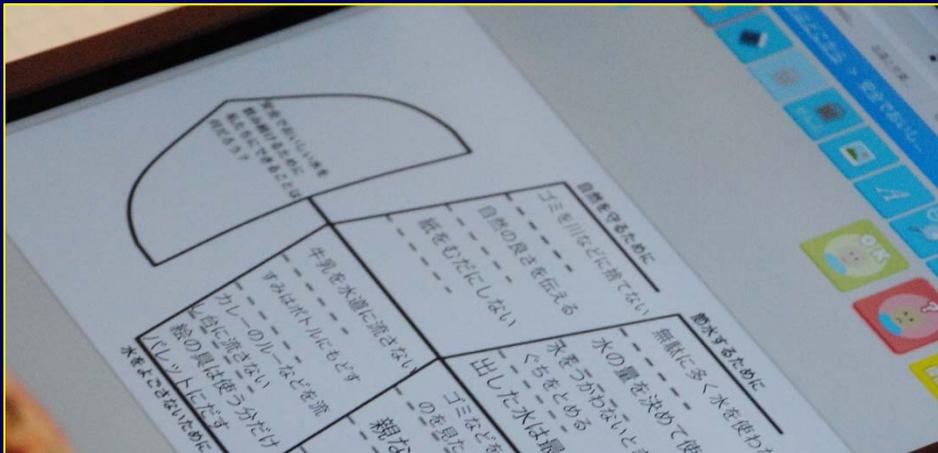
式 $21 \times 2 - 1 = 41$

20段目でも $20 \times 2 - 1 = 39$ になる

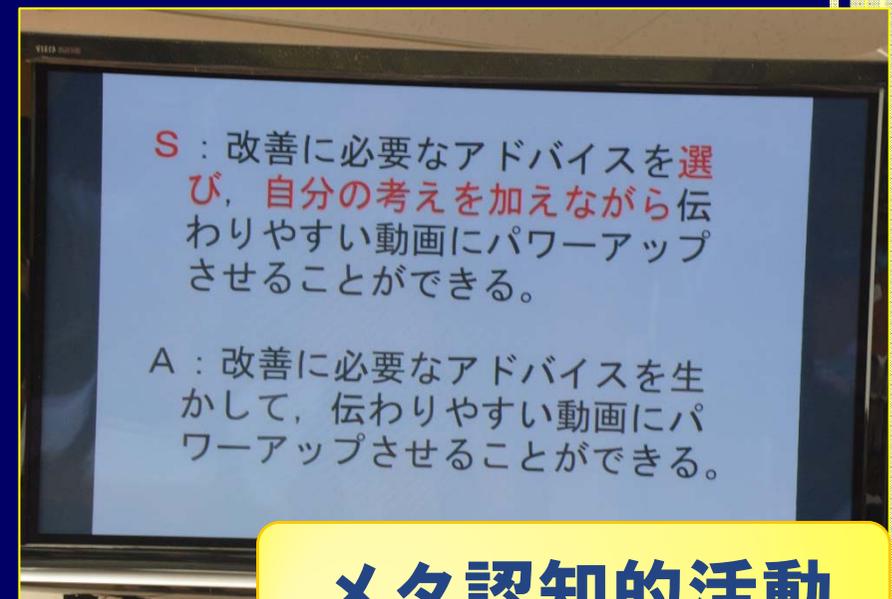
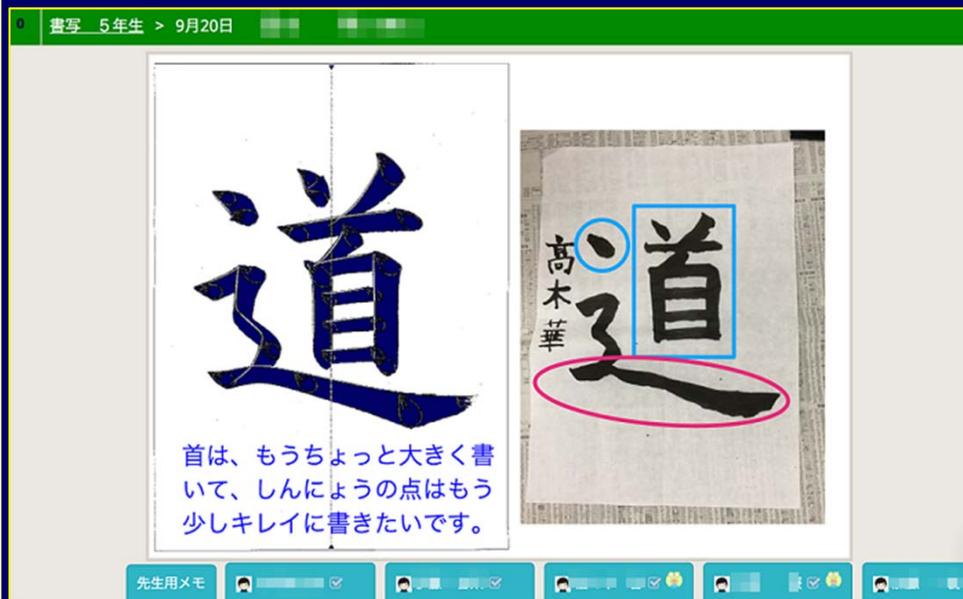
三角形の数は $n-1$ 個の三角形の数は $n-1$ 個の三角形の数は $n-1$ 個



思考の可視化、協働学習、学びの振り返り

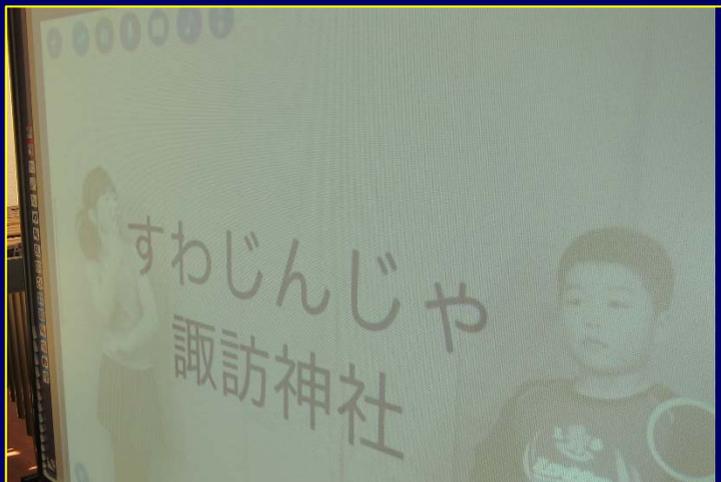


シンキングツールによる
思考の可視化、話し合い活動の充実



メタ認知的活動

地域との連携、表現する対象を意識した発信



学習成果物の
地域に向けた表現・発信

学力の保証、特別支援教育における保護者との連携

新地小学校

タイムライン

キーワード

11月16日

#6年2組 教員 小野 あき 11月16日
比例?9が今日の宿題です。配るのが遅くなって、済みません。お時間までにできるかな、がんばるよ。

11月14日

#6年2組 教員 小野 あき 11月14日
ジャンプコースの人は、比例?8に問題があります。また、

11月11日

#6年2組 教員 小野 あき 11月11日
ジャンプコースの人は、比例?7に問題があります。アップ

11月10日

#6年2組 教員 小野 あき 11月10日
eライブラリ、4年生、変わり方調べが終わった人は、単元ジャンプコースの人は、比例?6に問題があります。アップするの

大丈夫？
給食のときとか、君がいないから
すごくつまらないんだよ
早く元気になってみんなでサッカーや
ろうね

音楽祭頑張
るうね〜

早く、レクがで
きるようになる
といいね〜

宿泊活動、
チーム違う
けど頑張る
うね〜

待ってる
よ〜

君へ

君大丈夫？
僕たちは、元気だよ〜
早くけが治して、学校来いよ。
学校に来たときは、みんなで、フォローするから安心して学校に来
ていいよ。
君が、いないと盛り上がらないよ、だから早くけが治せよ!!

多様なサポートの実現 保護者の不安に寄り添う支援

ライセンス eライブラリ
アプリ
マルチブラウザ対応版

新地町立福田小学校 小学5年1組
1番 荒 佑弥 1201さん

学習する 成績を見る 課題 計画

課題学習

全部見る

課題	先生	期限
済 2016/09/16 11時〜ドリル教材 課題	加藤 教子	2016/09/16
済 2016/09/09 11時〜ドリル教材 課題	加藤 教子	2016/09/09
2016/07/12 13時〜ドリル教材 課題	加藤 教子	2016/07/12

12月01日

#特別支援5組 12月01日

動画の感想

母(母)です。遅くに申し訳ありません。
授業参観以外に学校での子供の様子を見ることはないのですが、
一生懸命授業に取り組んでいる様子を見ることができました。
今後ともよろしく願いいたします。

#特別支援5組 12月01日

母(母)です。いつもお世話になっております。
娘の授業の様子を拝見いたしました。楽しそうに授業に取り組めていてよか

地域学習における活用



ICT活用教育における
地域の協力

保護者の理解

未提出 未提出 未提出

5-1: 未提出 5-1: 未提出 5-2: 未提出

5-2: 未提出 5-2: 未学習 5-1: 未提出

5-2: 教員 遠藤 未提出 5-2: 未提出 5-1: 未提出

すべて 履歴

11月11日 金曜日

- schoolTakt
sp03.ledup.jp/lessons/2137/joins
- schoolTakt
sp03.ledup.jp/lessons/2137
- schoolTakt
sp03.ledup.jp/exercises/4146
- schoolTakt
sp03.ledup.jp/lessons/2...h=0.907601291674715
- schoolTakt
sp03.ledup.jp/lessons/2185
- schoolTakt
sp03.ledup.jp/lessons/2185/edit
- メダル・コインについて
elibrary.education.ne.jp/...upport/medal_help.html
- ライズeライブラリ アドバンス
elibrary.education.ne.jp/pc/student/mypage/index
- ライズe...

安心して使える
ICT環境整備

教員の研修体制の充実



ICT活用に必要な 基礎的な力の育成

ネットアドバイザー養成
講座による情報モラル・
セキュリティに対する知識の定着

ICT支援員やコンテンツ
企業による操作研修会



教員の研修体制の充実

ICTを活用する力の育成



各小中学校に専門的な知識を有する大学教授を招いて授業研究会等を実施

福田小学校

5月26日 7月15日 10月14日

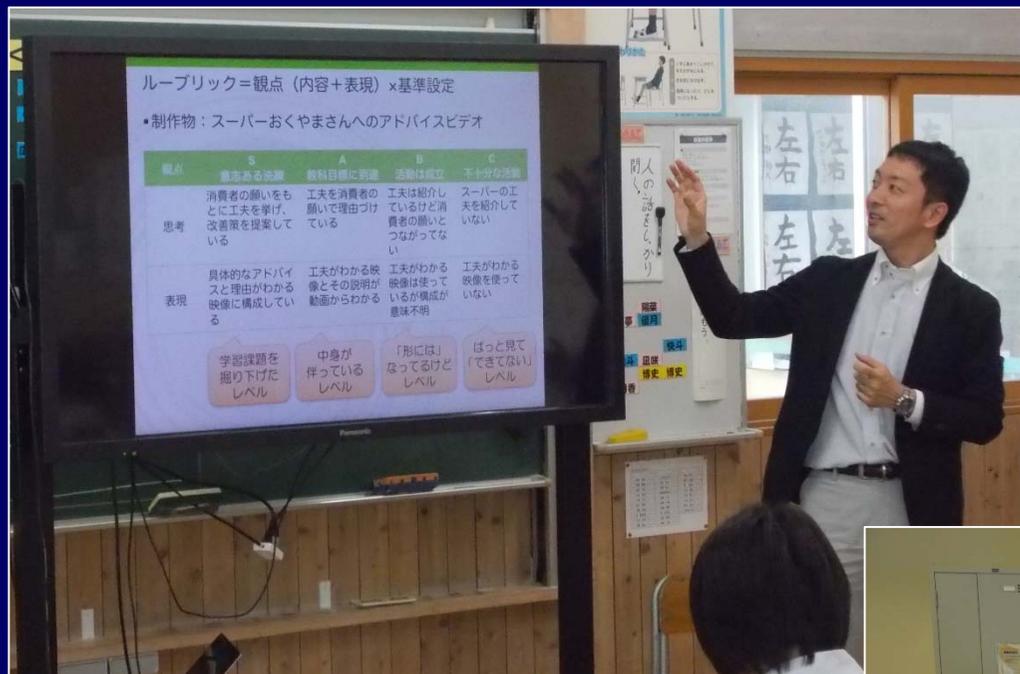
新地小学校

6月10日 7月13日 9月14日



教員の研修体制の充実

ICTを活用する力の育成



各小中学校に専門的な知識を有する大学教授を招いて授業研究会等を実施

駒ヶ嶺小学校

6月1日 7月7日 9月13日

尚英中学校

7月1日 9月5日 11月7日

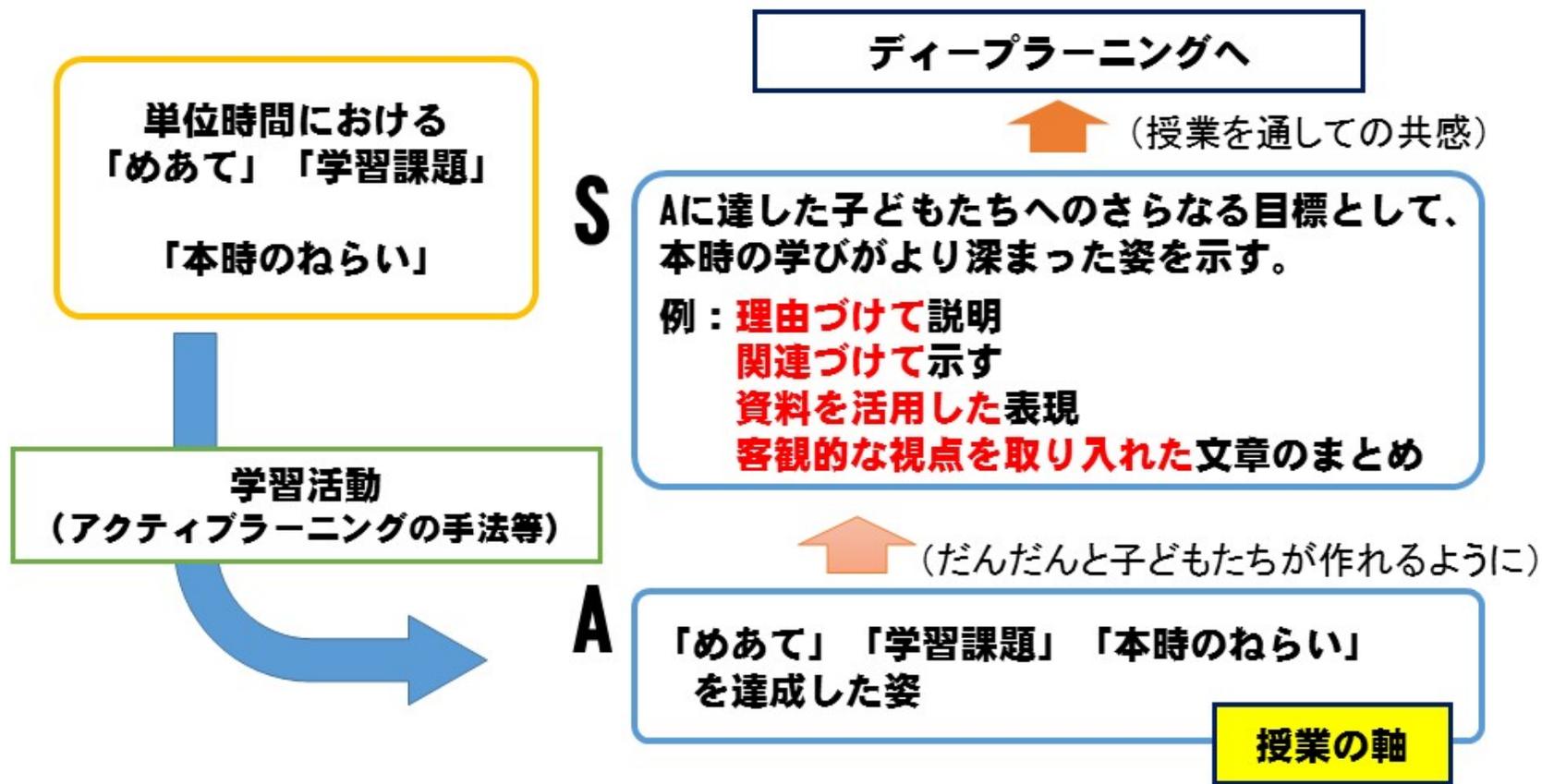


ルーブリック評価の実施

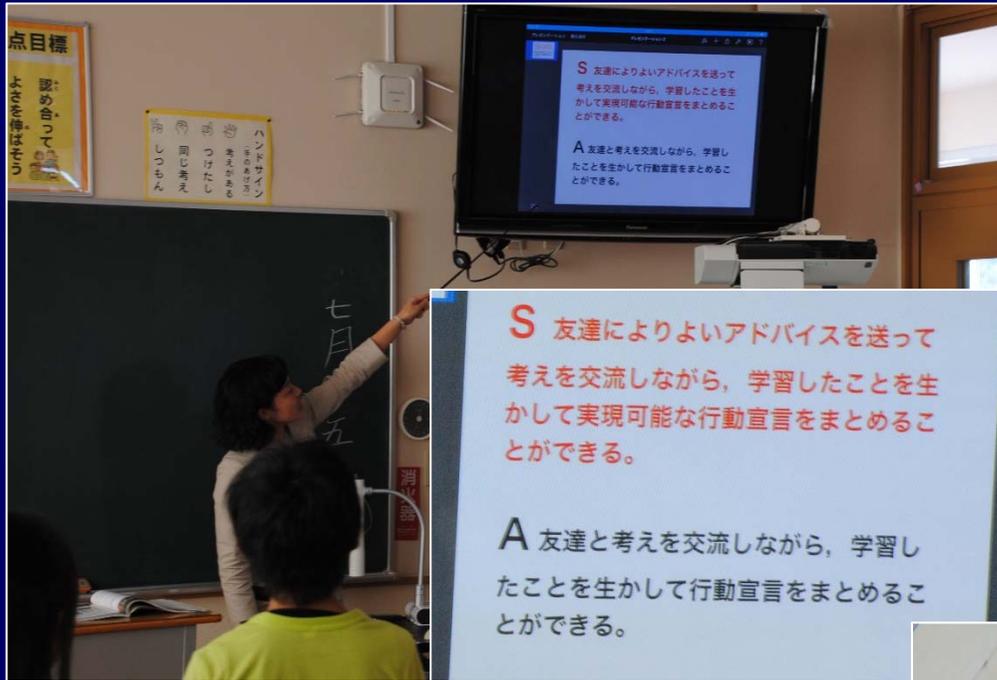
新地町のルーブリック評価に関する基本的な考え方と利点

【各学校の実態に応じて段階的に導入】

- 事前に評価内容を示すことで、学習意欲を向上させる。
- 子どもの自己評価能力が育ち、自主的な学習が期待できる。
- 単元全体を見通した、計画性のある授業が実践できる。



ルーブリック評価の実施



ICTを使うことが
目的ではない
育成したい力に
重点を置いた指導

9/30

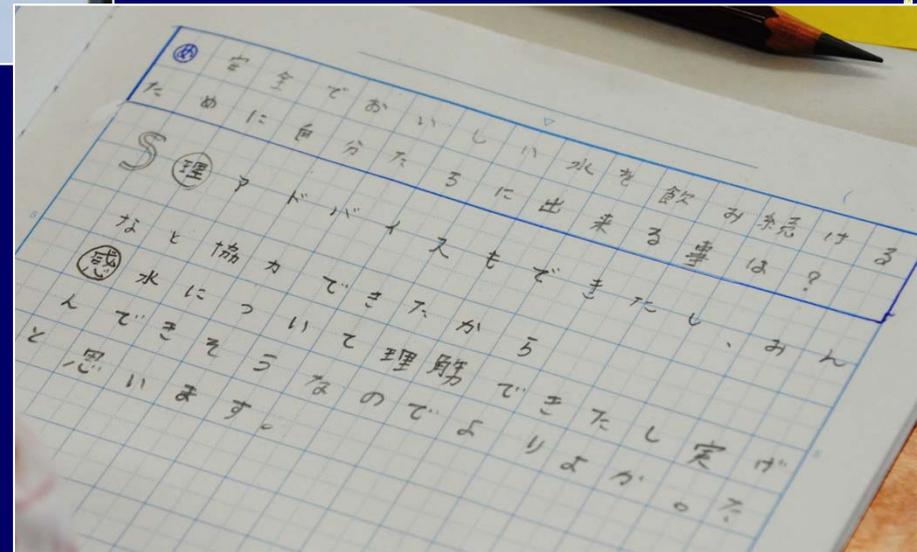
④ 友達の意見を参考にしながら、よりよい政策をつくろう。

自分の考えを取り入れながら

⑤ 友達の意見を生かし、シートや原稿を改善する。

⑥ 友達の意見を生かし、シートや原稿を改善する。

話し合い



平成28年度ICT活用発表会



平成28年度ICT活用発表会

来場者アンケートより

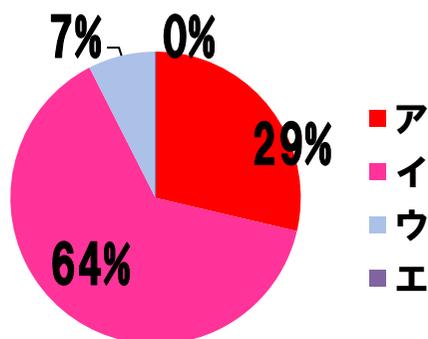
- ・自分の学校では必然性がなければ前に進まないが、本日の授業を周知することで取り入れてみようとする先生方も増えたと感じた。
- ・友だちの考えを共有したり、教師が進み具合を知れたりすることは、すばらしい。
- ・今後も最先端のICT活用発表会の継続を期待する。
- ・町としての研究内容と実践が先進であり、これからの時代、このような教育が中心となっていくのだと改めて感じた。
- ・新地町の先生方、子どもたち、教育委員会はすばらしい。

ICT活用教育における保護者意識調査の結果

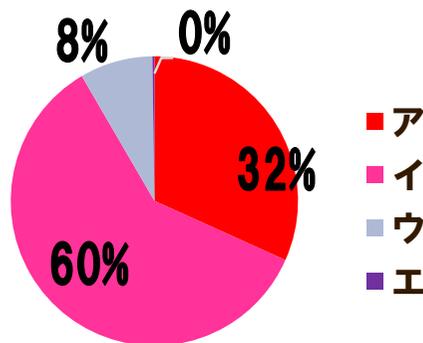
ICT機器を活用した教育が学力の向上に効果的か

- ア. 効果的である
- イ. どちらかといえば効果的である
- ウ. あまり効果的ではない
- エ. 効果的ではない

平成27年度結果



平成28年度結果

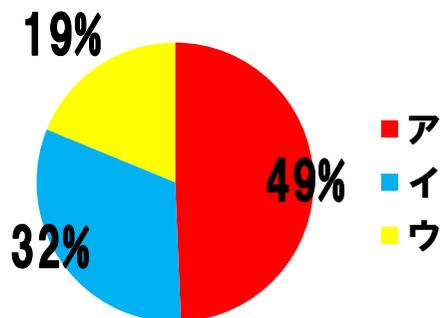


「どちらかといえば」の減少
↓
保護者が判断できるようになってきている
学力の向上に肯定的

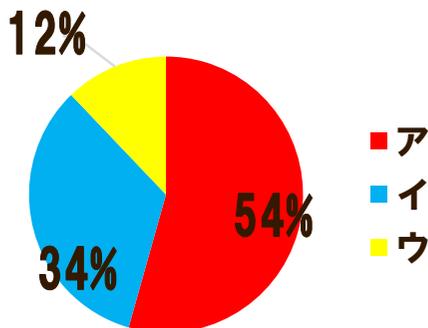
持ち帰り学習を行う際に家庭のインターネット接続環境を利用してよいか

- ア. 家庭のネットワークを利用してよい
- イ. これまでと同様にモバイルWi-Fiルータを活用してほしい
- ウ. わからない

平成27年度結果



平成28年度結果



ICTを活用した効果的な教育が保護者の理解につながり、協力体制が構築されつつある。

ICT活用教育における保護者意識調査の結果

- 時代にあった学習方法を積極的に活用することはとてもよいことだと思う。子どもたちも楽しく興味を持って学習することができる。
- ICTの活用は他の町の保護者からうらやましがられるほどです。
- 年々有効に使われてきていると思います。個々での使用も良いですが、調べ→まとめ→発表とグループワークなどでも使われていて1人ではまとめるのが難しくても。協力してやりきるという経験を積んでいっているのも良いと思います。
- ICTを活用して学力がどれだけ向上したのか過去数年のデータをもとに検証し各家庭に報告してほしい。

議会からの理解



定例議会の概要

町政を問う

常



▲学校訪問 (福田小学校)

児童・生徒数	平成28年7月1日現在					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
福田小学校	男女計 8	12	17	13	18	80
新地小学校	男女計 18	17	16	17	20	101
駒ヶ嶺小学校	男女計 11	12	12	11	10	68
計	26	28	29	26	26	160
男女計	25	43	39	41	45	234
男女計	25	35	37	32	41	147

総務文教
 ○学校訪問(小・中学校)
 (開催日) 7月13日
 各学校を訪問し、学校からの要望、懇談、校舎見学及び授業参観を行った。各学校から施設、設備の不備、要望を頂いたがどれも大事である。子供たちの成長にとっても重要であ

常任委員会レポート

る。特に、駒小の校舎経年劣化、雨漏り、地盤沈下策、除草対策や新地小のトイレの臭い改善など順序を決め、できる所から早急に対応をすべきである。また、当町教育の大きな特色であるICT教育の進展は、ICT支援員の力が大きい。財源を投入しなが

また、当町教育の大きな特色であるICT教育の進展は、ICT支援員の力が大きい。一般財源を投入しながらもこれを継続すべきである。

機器導入から6年が経過し、電子黒板、タブレット等の更新時期であるので、課題として検討されたい。特に、電子黒板は、一部を

機器導入から6年が経過し、電子黒板、タブレット等の更新時期であるので、課題として検討されたい。特に、電子黒板は、一部を除き画面を窓に向けて設置しているが効果はあまり変わらないとはいえ、廊下を向けて設置すれば効果が上がると思うので改善が必要と思われる。

新地町は実証終了後の29年度も クラウドを利用したICT活用教育を継続

- ・ 新地町学校ICT活用協議会の継続
- ・ 平成29年度新地町ICT活用発表会の開催（11月15日予定）
- ・ ドリル型学習コンテンツ
- ・ 協働学習支援ツール
- ・ 協働学習・発表支援ツールの継続利用
- ・ ICT支援員の雇用

次年度の課題

- ・ 教員のさらなる指導力向上と授業構成力の向上
（読む・読み取る力の育成等）
 - ・ 指導と評価の一体化（学習成果物等の適切な評価）
 - ・ 教員の多忙感の解消
 - ・ 地域や保護者の理解啓発
- 



ご静聴ありがとうございました。

